

第4次男女共同参画プラン（案）に寄せられた意見に対する市の考え方

No.	ページ	項目	寄せられた意見	市の考え方	反映の有無
1			市議会議員の定数を15名にして、議決権無しの市民陪審員5名を市議会開催のたびに公募する。議会開催日を土日×4回にして女性陪審員として多数の市民に参加してもらい、次世代市議会議員の人材育成とする。陪審員報酬は1回5万円として議案はパワーポイント資料として見えるかと一人質疑応答を30分とする。18歳以上の全世代市民参画を目標として、次世代市議会議員を養成する。	第4次男女共同参画プランに直接関係のあるご意見ではないため、計画への反映はいたしません。 関係があると思われる部署に共有いたします。	無
2			障害者就労の場所として神田通にあるシャッター商店街をオタク博物館としてまず5店舗をテストケースとして改装する。全店舗バリアフリートイレ付とする。私はプラモデル博物館を開設したい。入場料¥500で電子決裁のみ。オタクと呼ばれる人をテーマごとに公募して改装する。鉄道オタク・盆栽オタク・猫オタクの店など。1年間の入場者数で人気のある人には入場料の20%を報酬として競わせる。私や要介護2級の障害者ですが、車椅子なら就労可能です。神田通をオンリーワンのオタク博物館通りとしたい。俳優の石坂浩二さんおろうがんず展を年1回開催して富士宮の活性化を図る。	第4次男女共同参画プランに直接関係のあるご意見ではないため、計画への反映はいたしません。 関係があると思われる部署に共有いたします。	無